おぢか議会だより

第 94 号　2016. 1. 8

特集（子どもは島の宝）・・・・・・2
新「はまゆう」建造始まる・・・・・・・・5
運動公園グラウンド改修関連等補正予算・7
一般質問５名の議員が登壇・・・・・・・11
議会と語ろう会開催・・・・・・・・・16
小値賀町議会２年連続の受賞

編　　集　小値賀町議会　広報常任委員会
発行責任者　小値賀町議会議長
電　　話　0959-56-3111

特集　子どもは小値賀の宝「子育て世代に聞く」パート２

－子育て最前線－

「千の蔵より子は宝」　祝唄の一節です。
長年に渡り子どもの大切さを表している言葉だと思います。
地域の宝である子ども達こそ地域創生そのものです。
今回は町外より嫁いで子どもを育てているお母さんに聞きました。

小値賀に来て何年になりますか？

【末永】
　佐世保出身で小値賀に来て５年になり、今年の６月に男の子が産まれました。

【門脇】
　北海道の砂川市出身です。小値賀に定住して７年になり、結婚して６年になります。

小値賀に来たきっかけはなんですか？

【末永】
　小値賀町において婚活イベントで知り合いました。

【門脇】
　たまたま電話で知り合って、冗談半分で遊びに来ると行ったのが最初です。

小値賀での出産に不安は無かったですか？

【末永】
　皆さんが声をかけてくれるので小値賀の生活には不安はありませんでした。
　こちらが相談したいと思う前に周りの人が声をかけるのでうれしかったです。

小値賀の生活には慣れましたか？

【門脇】
　筒井浦の漁師ですので、朝早くお父さんと漁に出て、それが終わって仕事に出ます。
　下の子が２歳になったとき、漁に出ているとき部屋から脱走したことがあったので、部屋に鍵かけて仕事に行ったことがありますが、鍵をかけると地域の人から怒られたりとか、チョット戸惑いがありましたね。

子どもたちはが学校には慣れましたか？

【門脇梢平くん】
　学校は楽しいけど、たまに道に迷うことがあります。

【門脇衣純さん】
　小学校６年生ですけど、中学生とか高校生とかと一緒に楽しめるから良いです。

今回のゲスト

門脇　忍さん
・３人の子育て中
（筒井浦在住　・漁師のお手伝いをしながらIT 協会勤務）

末永理恵さん
・初めての子育て中
（小浜町在住　・婚活イベントを通じて小値賀に嫁ぐ）

子ども達は学校給食や食材に困ることはないですか？

【門脇梢平くん】
　毎日決まった人数で作っているので、誰か、休んだり遠征に行ったりすると、その分の量が回ってくるので多い時があります。
　そして、準備や後片付けしたりするので弁当よりめんどくさい。

【門脇】
　給食は良いんですけど給食費の負担が多いですね。
　一人目が５０００円で、二人目以降が半額ですけど、３人いれば９０００円ですので、今の漁師の経済力では厳しいですね。
　そして高校になるとまた弁当ですのでね？

【末永】
　まだ保育園にも行ってないのでわかりませんが、家では父が魚を持って来てくれたり、食べにいっ

【門脇健史くん】
　学校では友達と遊んだり、いつも悪さばかりしている。

たりするので良いですよ。野菜なんかも母親が菜園でできた野菜なんかも持ってきてくれます。

病気などで困ったことはないですが。

【末永】
子どもはまだ無いですが、親が流産しやすい体質なので、小値賀の診療所には相談できないところがあります。実家が佐世保ですのでなんとかできていますけど。しかし、船便がはっきりしない時が不安ですね。

【門脇】
私は北海道ですので、なかなか帰れませんが、比較的病気をしていませんので助かっています。

少子化傾向が収まりませんが、ここ数年で若干の子どもの数が増えていると思われます。
今こそ子育て支援のチャンスだと考えますが、子どもを増やすためにどうしたらいいと思いますか？

【門脇】
子どもが増えると負担も増えるので厳しいですね。
小学校はいいですけど中学校になると修学旅行の積立や自動車学校の積立が始まるし、高校になれば部活の部費だけで月４０００円かかるそうですので、これからやっていけるのか不安がありますので、医療費の補助とか制服などを買ったりする時にお下がり等をお世話をしてくれる仕組みがあれば助かりますよね。
他所からくると繋がりがないのでね。
紙おむつやミルクがどこに売っているかもわからず、インターネットで購入が増えましたね。
嫁いできた者同士の交流はありますか？

【門脇】
ありませんね。
Ｉターン・Ｕターン者の独身の方の交流はありますけど、嫁は該当しないんですよ。

【末永】
子どもが出来てからはサークルとかバンビちゃんとか誘われて交流はそれなりにあって、色々な相談するところはあります。
子どもが産まれたらそれなりに増えましたけど、嫁と言われる人の交流の場はないですね。

【門脇】
他所から来ているので同窓会なんかもないですしね。
独身者だとチヤホヤされるんですけどね。
交流の場は欲しいですよ。
婦人会には勝手に入れられますけど（笑）
ほかに嬉しかったことや望みたいことはないですか？

【門脇】
高校の存続が心配で、うえの二人は心配ないですけど下の子の時にあるのかなと思いますね。
そして欲しいものがどこに売っているかも、値段がどれくらいかも分からず迷った事もありますので、今は値段にタグが付いてますけど前は付いてなくて困ったので、相談する場所があれば助かりますね。

【末永】
そうですね　ちょっとした相談をする仕組みは欲しいですよね。

本日は年末の大変お忙しい中、貴重な時間を作っていただき、ありがとうございました。

今回で、２回目になりますが、小値賀町は自然環境や地域の人からの声かけは嬉しかったようです。
また、今回は小学生や中学生の声も聞くこともでき大変参考になりました。
多くの悩みを共有するため、今後とも御協力をお願いします。
（議会広報常任委員会）

新「はまゆう」建造中

３月中には完成予定

「はまゆう」建造建設費　第３回臨時会にて可決

デザインについては、完成品とは若干の変更があります。

水仙をモチーフにしたデザインです

去る10月23日に招集された第３回臨時会において、小値賀町町営交通船新船建造工事の請負契約締結の議案が提出されました。
小値賀本島と離島を結ぶ町民の足として慎重に審議した結果、満場一致で可決しました。。

★　契約の目的
小値賀町営交通船
新船建造工事

★　契約の方法
指名型プロポーザル方式による随意契約

★　契約金額
1億８５４万円

★　契約の相手方
三重県伊勢市
ニュージャパンマリン
株式会社

プロポーザル契約とは？

主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定する

☆　全長　：　18.5 m　　☆　登録長：　16.6 m
☆　最大幅：　4.5 m　　☆　バリアフリー対応
☆　深さ　：　1.84 m　　☆　航海速力　：　約 22 ノット（75％出力）
☆　総トン数：19 トン
☆　主機関:MCR（4/4 出力）575 ＰＳ×２基（ヤンマー、三菱より選びます）
☆　最大搭載人員　：52 人（旅客 50 人　船員２人）

議場に可愛い眼差しが・・・

小学校６年生が議会を傍聴

平成 27 年第 4 回 12 月定例会　開催

5名の一般質問のテンポ良い質疑が議場に緊張感

副町長再任に同意

12月15日から17日までの3日間、平成27年第4回定例会が開催されました。

今定例会には、小値賀小学校6年生全員の傍聴がありました。これは授業の一環として2月に開かれる子ども議会に向けた取り組みです。

一般質問では議長を除く7人の議員のうち5人の議員が次々に登壇し、テンポ良く活発な質疑が交わされました。

質問事項はそれぞれ次のとおりです。

「ジェネリック医薬品の普及について」

「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略について」

「通学路における生徒児童の安全確保について」

「小値賀空港の利活用について」

「観光産業の振興対策について」（記事は11頁）

議案は条例の制定が3件、条例の一部改正が7件、平成27年度補正予算が5件、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙、副町長の選任同意、その他です。

議員同士が自由な立場で討議し、争点や問題点を明らかにし、意見の相違や共通点を確認してより良い結論を導き出すため、いくつかの議案では審議を一旦中断し、会場を会議室に変えて自由討議を行いました。

また、審議の内容に係る現場の調査をしたり、必要に応じて関係者からのヒアリングを行った結果、すべての議案に対し、原案どおり可決しました。（記事は9頁）

傍聴する小学生　今度は僕たちだ！

選挙管理委員会委員及び補充員は、12月20日に任期満了になることから指名推選選挙を行い、それぞれ4名が決定しました。今後4年間の任期となります。（記事は9頁）

副町長は、現副町長の谷良一氏の任期が12月31日で満了します。

町長より同氏を今後さらに4年間副町長に選任したいと提案があり、全員一致で同意しました。（記事は9頁）

一般会計補正予算（第３号）

運動公園グラウンド改修設計業務委託料など
各種事業費の増減を可決しました

歳入・歳出それぞれ 4960 万円を減額し、
予算総額を 28 億 4000 万円に。

（主な歳入補正）

町　　税	656 万 5000 円	増額
地方交付税	1100 万円	増額
町　　債	3310 万円	減額

（主な歳出補正）

衛生費	390 万 8000 円	減額
農林水産業費	885 万 3000 円	増額
商工費	490 万円	増額
土木費	809 万 3000 円	増額
教育費	1112 万 7000 円	増額

地方債補正

防災行政無線移動系デジタル化整備事業	3310 万円	減額

今回の歳入補正は、固定資産税の償却資産の変更と地方交付税の増額が主なものです。

歳出については、民生費として認定子ども園非常勤職員一名分の増額。衛生費として国保診療所特別会計繰出金９９６万円減額。

商工費として野崎島ビジターセンター設計業務委託料２３０万円増額、土木費として野崎島の道路整備測量基本設計業務委託料４２０万円増額、更に消防費として小値賀町防災行政無線（移動系）デジタル方式設備整備工事費６１００万円の減額。

教育費として総合運動公園グラウンド改修工事設計業務委託料として８００万円増額の計上が主なものです。

一般会計補正予算案に対する主な質疑

問　地方交付税の額は最終決定か。

答　普通交付税等において全額計上していない。主な理由は、特別養護老人ホーム「値賀の里」の増床工事に対する過疎債が決定しておらず、最悪の場合は町の持ち出しが多額になるため留保している。

問　防災無線デジタル方式設備整備工事において６１００万円の減額となっているがなぜか。

答　補助金申請する場合はあらゆる角度から算定し、額の高い方から申請するので入札によっては相当な減額となりうる。

今回の契約は設計委託と工事委託が同じ会社であったため大幅な減額となった。

特別会計補正予算

渡船事業特別会計補正予算（第２号）

歳入・歳出それぞれ 49 万 4000 円を追加し、
予算総額を 1 億 7249 万 4000 円にしました。

（主な歳入補正）			（主な歳出補正）		
繰越金	49 万 4000 円	増額	渡船事業費	49 万 4000 円	増額

主な補正は、職員給与の額の決定をしたためです。

簡易水道事業特別会計補正予算（第１号）

歳入・歳出それぞれ 530 万円を追加し、
予算総額を 8340 万円にしました。

（主な歳入補正）			（主な歳出補正）		
繰入金	430 万 2000 円	増額	総務費	530 万円	増額
繰越金	99 万 8000 円	増額			

主な補正は、野崎島簡易水道設置による小型膜処理装置の購入です。

下水道事業特別会計補正予算（第２号）

歳入・歳出それぞれ 273 万円を減額し、
予算総額を 1 億 7169 万 7000 円にしました。

（主な歳入補正）			（主な歳出補正）		
繰入金	273 万円	減額	総務費	273 万円	減額

主な補正は、職員給与の額の決定と、合併浄化槽設置の工事請負費です。

国民健康保険診療所特別会計補正予算（第１号）

歳入・歳出それぞれ 70 万 2000 円を追加し、
予算総額を 4 億 1970 万 2000 円にしました。

（主な歳入補正）			（主な歳出補正）		
繰入金	996 万円	減額	総務費	70 万 2000 円	増額
繰越金	1066 万 2000 円	増額			

主な補正は、一般会計への繰入金の減額による繰越金の増額です。

新しい条例や一部改正が決まりました

家庭的で地域に密着した保育が可能に

「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」等を可決

子育て支援の拡充として家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例案が可決されました。

児童福祉法の改正により保育士又は看護師の資格要件が緩和され、町でも、地域のニーズの多様性にきめ細かに対応できる保育を提供する家庭的保育（利用定員５人以下）・小規模保育（６人以上19人以下）・居宅訪問型保育等が一定の基準をクリアすることで設置できるようになりました。

納税者の軽減を図るための猶予制度に分割納入ができるようになりました。

平成26年度の税制改正において納税者の負担の軽減を図るとともに、早期かつ的確な納税の履行を確保する法律改正に伴い、町内においても実態をふまえて徴収の猶予した期間の延長又は分割納入ができるようになりました。

条例等の一部改正案もすべて可決しました

過疎地域自立促進計画の一部が変更され、特別養護老人ホーム「値賀の里」の増床建設が組み入れられました。

その他の案件では、法律改正による条項の変更などが可決されました。

副町長の選任についての同意

副町長の任期満了に伴い、谷 良一氏を再任することに同意しました。

谷　良一氏

谷氏は過去の実績と常に真面目で誠実な人であり、全員一致により再任しました。
任期は4年です。
ご活躍を期待します。

これからも与えられた重責に身を引き締めながら、町長の補佐役として、より一層努力いたします。

選挙管理委員会委員の選任についての同意

任期満了に伴う選挙管理委員会の委員について同意しました。

引続き公平な選挙管理の遂行のため、ご尽力いただくことになります。
任期は4年です。

選挙管理委員	田中比古右氏
	吉野喜昭　氏
	浦俊一郎　氏
	山田泰弘　氏
選挙管理委員補充員	前田利秋　氏
	原田信幸　氏
	土田　廣　氏
	浦幸一郎　氏

常任委員会報告

町民の安心安全な町づくりのため活動をします

総務文教厚生常任委員会

本年5月に、6人のメンバーが構成され、協議を始めました。

前回の委員の「所管施設の視察と問題点及び対応策」「福祉事業の現状と課題」「野崎島の自然環境保全と世界遺産」「ふるさと納税」等の調査・協議してきたことを引継ぎ、所管事務における福祉事務所の事業計画と現状について報告を求め、協議に入りました。

6月22日に、所管施設の視察、7月には視察した施設の現状と課題について各担当課に対応を求めました。

8月には、社会福祉協議会らの要望の聞き取り調査や野崎島の環境保全のための条例化について研究しました。

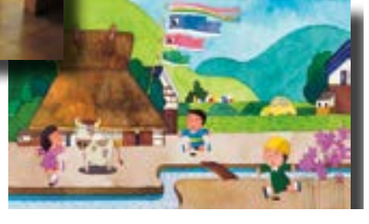
9月には、野崎島の具体的にゴミ問題やトイレ問題、更に野生鹿への影響やアクセス問題などに対して協議しました。

10月には、自然保護について関係者や担当者に出席を求めて野崎島に関する集中審議を行ない、環境保護条例の必要性を担当課に提示しました。

12月には、全国で話題になっている「ふるさと納税」を主体に本町の取り組む姿勢を質し、地域振興や産業振興の視点からも有効活用するべきとして、更に協議を進め、委員会として提言できる形にするよう協議することで一致しました。

我々の委員会は諸問題に対して積極的に取り組むことで安心安全な町づくりのため、今後更に深く取組んで行きます。

委員長　末永一朗



一般質問

今回の一般質問に対し5名の議員が登壇しました。

各議員の小値賀町に対する思いを町長に質問しました。

テンポの良い活発な質疑ができました。

松屋治郎議員 ･･･11 ページ
「ジェネリック医薬品の普及について」

土川重佳議員 ･･･12 ページ
「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略について」

今田光弘議員 ･･･13 ページ
「通学路における生徒児童の安全確保について」

宮崎良保議員 ･･･14 ページ
「小値賀空港の利活用について」

横山弘蔵議員 ･･･15 ページ
「観光産業の振興対策について」

いっぱんしつもん

松屋治郎議員

自己負担軽減のためジェネリック医薬品の普及を

情報提供により普及に努める

【問】松屋議員

国の医療費は、高齢化や医療の高度化により年々増加し、平成25年度には40兆円を超えている。

国は患者の窓口負担及び公費の削減を図る上からも、価格の安いジェネリック医薬品の普及を推し進めている。

現在、当町のジェネリック医薬品の普及率は21、8％と低く、国の平均普及率58、4％に及ばない状況である。

このようなジェネリック医薬品の普及が進まない当町の問題点、又、今後の取り組みについて伺う。

【答】西　町長

ジェネリック医薬品は先発医薬品に比べて値段が安い点が一番のメリットです。

しかし、主成分は同じでも添加物や製造過程が異なることからジェネリックは全く先発医薬品と同じ薬とは言えないところがデメリットに挙げられます。

又、特許期限が切れた先発医薬品すべてにジェネリック医薬品が開発されているとは限らず、普及の伸びない一つの要因にもなっているようです。

しかし、毎年少しずつですが小値賀診療所のジェネリック医薬品の割合は伸びています。

薬局の窓口にジェネリック医薬品希望カードを設置し、希望者が自由に取れるようにしています。

ジェネリック医薬品を使うかどうかの選択権は患者さんにありますので、今後はジェネリック医薬品のメリット・デメリットを患者さんに知ってもらうことが必要であり、患者さんへの情報提供に努めてまいります。

いっぱんしつもん

土川重佳議員

地方創生の中心は人口問題、対策は？

働く場の創出、住居の問題を含めた生活環境の整備を

【問】土川議員

平成27年は地方創生元年となる。小値賀町議会においても地方創生まちづくり特別委員会を設置し、議会の観点からも戦略策定に取り組んでいる。地方創生の中心は人口問題であり、いかに子どもを増やすか、後継者、担い手を残していくかにかかっていると思う。

民間の相違工夫を最大限に活用した民への知見の引き出しに取り組むことにより活力ある小値賀町が生まれる。

将来にわたり人口減少問題の克服と町の成長の確保を図るため町長に伺う。

歯止めなき人口減少についての町長の考えを伺う。又、人口増のためには、働く場が必要である

が、小値賀町の産業の振興についてどのように考えているか伺う。

【答】西　町長

まず人口減少に歯止めをかけたいと考えています。

まず、いかにして子どもを増やすかを考え、働く場を含めた生活のこと、又、住居の問題も出てきます。それらに対する多くの不安や課題が解消されて初めて子どもを儲け、町に定住化します。

それが人口増加に繋がるのではないでしょうか。

又、産業振興については、インターネットなどの情報通信技術や高速網の発達など、私たちを取り巻く環境が大きく変化し、それに対応する形で第1次産業と融合する商工業・観光産業等の考え方が出てきます。

又、特産品の開発にも努力が必要ですので、行政だけの考えではなく、広く意見を求め、町内外の有識者にも参画していただき、これからも色々な問題に取組んでいきます。

いっぱんしつもん

今田光弘議員

通学路の安全確保は万全か

関係者と協議し必要な対策を講じます

【問】今田議員

通学路の安全確保といえば、まず交通安全である。

通学路において街灯自体の数が場所によってはとても少なく、とても心細く、不安を感じる。

又、覆いかぶさる木の枝、葉っぱなどで光がさえぎられ暗くなっている

ところもありますので、そのような危険箇所のチェックを行い、危険と思われる場所、こういう樹木に対して何らかの思い切った対策を講じるべきと考えるが、町長の考えを伺う。

【答】西　町長

子どもの通学路は、一般の道路にはない安全施設が必要だと思われ、町内の主要道路には出来るだけ歩道を付けるように努力をしてまいりました。

昨年の8月に、夜間に島内の幹線の街灯状況を確認しており、老朽化したものや電球が切れているもの、取り付けが壊れているもの、立木等の陰になっているものなどを確認し、対応が必要なものについては、既に修理を行っています。

通学路の街灯ですが、各地区や町内については、各地区で管理をしていただき、地区間の街灯は、通学路に限り町が直接管理する仕組みになっています。

危険な状態になった場合には、土地の所有者を確認する必要がありますが、県有地であれば長崎県と協議して、個人のものであれば所有者と協議して、適切に対応してまいりたいと考えております。

今後も関係機関等に投げかけをしたいと考えておりますが、早急な対応は難しいことをご理解をいただきたいと思います。

いっぱんしつもん

宮崎良保議員

航空路の定期便を確保せよ
ハードルが高い問題だが調査研究します

【問】宮崎議員

昭和60年に開港した小値賀空港は、平成16年に福岡便が、平成18年には長崎便が廃止となって、その後の有効利用がなされていない。

長崎県は世界遺産登録まで維持し、その間に有効利用を探ると言う事であったが、このままでは再び廃止論が出てくるのではないか。

今後、世界遺産登録などで観光客が増えると思われるが、チャータ便ではなく、定期便の就航が可能かどうか、県に調査を含めてお願いできないか伺う。

【答】西　町長

定期便運航は運営会社を見つけるのに大変ハードルが高い問題です。

しかし、世界遺産登録になれば世界からも注目され、交通アクセスに航空路があれば大きな武器になると考えています。

今後、存続について県にも改めて相談をし、チャーター便も含めて可能かどうか調査研究したいと考えています。

又、新上五島町でも同様であることから協力する方向で検討したいと思います。

待機中のグライダー

【問】宮崎議員

今年9月に枕崎グライダークラブの飛行会が小値賀空港であり、今後も小値賀空港を活用できないかと聞いている。

小値賀空港にグライダーを常駐することができれば枕崎グライダークラブをはじめ関係大学なども利用することによって有効活用が図られ、又、人的交流など多大の経済効果が期待出来ると思う。

この際、町でグライダー購入も考えていいのではないかと思うが町長の考えを伺う。

【答】西　町長

空港の利活用の面からも地元経済への貢献、情報発信などの点からも移動経費の一部補助等を行い、小値賀空港での継続した飛行会の開催ができればと考えています。

又、購入となると施設の整備も必要ですし、格納庫も強風に耐えるものでなくてはいけません。

グライダーの値段もどのくらいのものなのか、今後検討することが必要と思っています。

グライダー曳航（えいこう）用の飛行機

いっぱんしつもん

横山弘蔵議員

ＩＴ協会の合併の問題が浮上しているが考えは？
ＩＴ協会の充実した活動を続ける事が重要です

【問】横山議員

観光産業の振興策について町が取り組むべき一番の課題は何か。

【答】西　町長

本土との交通アクセスの改善が第一の課題と考えます。

世界遺産の登録が目前に迫り、観光客が増えてきましたが、宿泊施設が不足しており雇用の場の創出にもつながることから、ホテルの建設への協力もしていきたいと考えています。

【問】横山議員

ＮＰＯ法人おぢかアイランドツーリズム協会の現状の認識と今後の関係は。

【答】西　町長

町の観光に多大な貢献をしているのは間違いなく、ＩＴ協会が、㈱小値賀観光まちづくり公社との合併を検討し、それぞれの会員や株主に説明会を開催しているという話を聞いています。

関係者で充分話し合って方向性を決定していただき、その結果を受けて町として協力しますが、公益性の担保という点で、ＮＰＯであれば問題ないが、株主の利益を優先する株式会社では問題だと考えます。

今後、ＩＴ協会と観光公社の持つノウハウは重要ですのでさらに充実した形で活動を続けていただきたいと思っています。

【問】横山議員

本土との海上交通の改善策は。

【答】西　町長

１月開催予定の通常国会に提出され、成立する見込みの「国境離島新法」により打開できないかと期待しており、引き続き知事や県議会をはじめ各方面に働きかけをしていきます。

【問】横山議員

船の乗降客の環境を整えるためにもターミナル周辺の通路に、風雨除けの施設ができないか。

【答】西　町長

県とも協議していますが「漁港施設」なので固定施設は設置できないことが最大のネックになっています。

ボーディングブリッジは船の大きさが決まらないと造れません。

乗降客と荷物の運搬の動線が重なることもあって難しい問題ではありますが、何か方法を見つけて取り組んでいきたいと考えています。

議会と語ろう会開催

地方創生に向けて若者の声を聴く

人口をふやすための戦略は？
仕事づくりの方策は？

起業しやすい環境を
創意工夫の主役は民間の若者

11月28日、30日、12月2日に「議会と語ろう会」を開催しました。

今回は、地方創生を意識して、商工青年部、農協青年部、Iターン者の会のみなさんと「人口を増やすための戦略」「仕事づくり」について議会と意見交換を行いました。

農業の法人化による雇用の創出の可能性やカンコロづくりなど、ちょっとした加工による収益アップの取り組み、観光客を意識した新たな仕事づくりについての意見が出されました。

また、現在、高値で推移している和牛に関しても、資金や多頭飼育の問題点やその解決方法等について現場の実情を基に意見交換がなされました。アイデアの実現には研修や意見調整が必要であることも確認しました。

人口増のためには、Uターン者やIターン者を増やすことがメインテーマであるが、そのための環境整備が不十分であることの指摘や企業の誘致が難しい小値賀では、自ら仕事をつくる起業が一つのポイントであることなどが語られました。また、ネット環境の高速化を急ぐ必要性の指摘もありました。

マニフェスト大賞優秀シチズンシップ推進賞受賞

小値賀町議会２年連続の受賞

子ども議会の取り組みなどが評価されました

11月6日、東京六本木アカデミーヒルズ49階のタワーホールにて第10回マニフェスト大賞授賞式があり、小値賀町議会が2年連続で優秀賞を受賞しました。

この賞は、地方自治に積極的に取り組んでいる全国の自治体や議会そして民間を表彰するものです。

本町議会の今回の受賞は、選挙権の年齢引き下げを意識した「子ども議会」の取り組みが評価されたものです。

小さい自治体で議会改革に取り組む本町議会の今後を、審査委員会の皆さんも注目しているとのことでした。

編集後記

師走では寒いのが普通であるが今年は暖冬があたりまえのような近年の冬である。雨の日が多い。

このように天候不順が続くと色々な生活場面に悪い影響が出てくる。

今年は特にカンコロの原料である干し芋の乾燥に時間を要し、カビがでたり、思うように生産ができないとの声を聞く。それが少しづつ干し芋の値段を上げ、小値賀特産のカンコロ餅がそう遠くない時に最高級の一品になっているのではないかと思う。

イノシシが天敵であり、芋畑一面を食い荒らした現場を見ると厳しい現実が差し迫っているようだ。

せめて小値賀町はイノシシ退治に全力を尽くし、昔からの美味しいカンコロ餅を守ることである。

新しい特産品開発よりも大事なことである。

横山弘蔵